



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

ロータリー雑誌月間

第457回 平成9年4月25日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「我等の生業」
3. 百万\$の食事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員増強委員会
8. 点 鐘

次回予告

- *5月2日(金)
特別休会

*5月9日(金)
夜間例会
5月セレモニー

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	伊東忠寛
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	徳丸彰一
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614- 佐土原町建築業協会内 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	幹事	赤木達也
		会計	宮原建樹 会報委員会 垂水敏雄

第456回例会記録

1997. 4. 18

☆会長より 伊東 忠寛 君

1 会長の時間

* ビジターの紹介

宮崎北R C 岡本英敬君

(1) 市郡6クラブ会長幹事会の結果について

ア 新クラブ結成の経過

第2730地区で2クラブの拡大が目標でした。

現在鹿児島に1クラブが誕生し、今回、宮崎市内に新クラブ結成準備会を設けて進められたようです。

宮崎R C（大淵達郎会長）がスポンサークラブとなり、宮崎市周辺を区域として40名の会員で誕生するようです。

イ G S Eの受入れと協力依頼について

今回は、英國サセ克斯州の第1250地区より、

キース・ハンドリー チームリーダー以下5名が来県します。

すべて宮崎市内の5クラブで受け入れていただきますが、

佐土原では、4月21日午後6時30分ホテルプラザで開催される『G S E歓迎パーティー』に協力参加要請がありました。

6クラブの会長・幹事、国際奉仕委員長及び次年度の会長・幹事の計5名が出席することになりました。

ウ 次回の会長幹事会は、次年度会長・幹事と合同の会議となります。宮崎R Cがホストとして、6月24日午後6時30分から、宮崎観光ホテルで開催されます。

エ 佐土原R Cの議題として、佐土原R C創立10周年記念式典等に伴う具体的な協力依頼をお願いしました。

(2) 『少年の薬物乱用防止強化旬間』について

昨日の新聞に、警察庁が昨年1年間の「薬物事犯の概要」について、今、中学生・高校生の間で『ダイエットにいい…』とか『嫌なこともすぐに忘れる…』などの理由から、覚せい剤に手を出している少年が増えている…というショッキングな記事がありました。

昨年の覚せい剤押収量は650. 1kgでこれまでの最高だった…、検挙数も全国で19, 420人、うち高校生が214人と低年齢化が進みつつあります。

県内でも、昨年1年間で89人が摘発され、昨年より13人増え、この中には大麻所持の女子中学生が検挙されています。

覚ざい剤は、神経を興奮させるため、眠気や疲労感がなくなり、頭がさえたような感覚になる…しかし、その後は、極度の脱力感疲労感に襲われこれを逃れようと又使用する…そして中毒症状に陥ることになる。

症状が続くと過度の睡眠不足、食欲減退、さらに被害妄想等の幻覚症状があらわれ、錯乱状態で凶悪犯罪を平気で引き起こすことになるのです。

近年、覚せい剤の第三次乱用時代にはいった…とする予測もあり、徹底した撲滅作戦が必要であります。

県警では初めての試みとして、県内の小中高校を対象に薬物の実態を紹介するなど、『出前教室』による啓発に乗り出したようですが、RCでも社会奉仕委員会の事業内容に『薬物乱用防止』が上げられ『だめ、ぜつたい…運動』に参画していますので、改めて強い関心を持っていただきたいと思います。

☆幹事報告

代理 田 村 勝 二 君

例会変更通知

*日向中央RC 4月30日(水)

18:30 はまぐり荘

☆会長エレクトより

徳 丸 彰 一 君

次年度の各委員会の活動方針・活動計画等を、平成9年5月9日までにご提出ください。 様式は前年度に準じます。

☆出席報告

委員長 山 本 民 生 君

会 員 数	29名
H C 出席者数	23名
欠 席 者 数	3名
出 席 率	79.3%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	89.7%
欠 席 者 名	伊豫・井下・鶴田

☆社会奉仕委員会より

委員長 恒吉正志君

1. 本年度の当委員会活動の一つとして、佐土原RC創立記念事業で設置された『交通安全立看板』の補修塗装を行いたいと思います。業者に見積らせましたところ、看板の塗り替え及び文字入れ128,000円、鉄製脚部除鏽・防錆・上塗り12,000円、足場組み14,400円等で、2基の補修塗装代が170,000円程度かかるようです。理事会に諮って、近日中に実施したいと考えます。
2. 薬物乱用防止については、当クラブでも積極的に取り組んで来ていますが、特に少年の覚醒剤使用防止には、会員の皆様にも一層ご留意いただき、万一薬物乱用の情報を入手されたときは、警察・教育委員会などの関係機関に連絡して対処する必要があると思いますのでよろしくお願ひいたします。

☆会員卓話

山脇 忍君

今月は『ロータリー雑誌月間』です。松田雑誌委員長がご不在のため、この月間の趣旨等について若干申し上げます。現在R I 公式機関誌の「THE ROTARIAN」を含め、世界27ヶ国で30種類のロータリー地域雑誌が発刊されています。このうち、公式地域雑誌としてR I から承認されているのは23誌で、会員はその購読を義務づけられています。日本の「ロータリーの友」は、その中でも最も優れたものとして、1991年にR I から表彰を受けています。私も、分区代理を引き受けることにな

りましたので、10年前からの「ロータリーの友」を読み直しています。

2年分くらいの「ロータリーの友」を精読すればガバナーが務まる、とさえ言われております。それほど立派な雑誌であります。それなのに、「ロータリーの友」は読まれざるベストセラーとして敬遠されているのは、本当に勿体ないと思います。読んでみると非常に面白く、縦書きの最初の記事などはすばらしいと感じました。精読しているうちに、だんだんロータリアンになりつつあるなあという気持ちになってきます。

『ロータリー雑誌月間』はロータリーホームページに対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることが目的です。この月間を機に、皆さんも是非「ロータリーの友」を読んでいただきたいと思います。 (以下次号へ)

☆ゲスト特別卓話

宮崎北RC 岡本英敬君

ロータリアンが身についたかどうかを自己評価する一方法として、あるPGが例示されたことです。会社社長が幹部社員に、「私はRCに20年も入会しているが、もう辞めようかと考えている。君はどう思うか。」と聞いた時に、「お辞めになった方がよい。」と返事が来れば、まだロータリアンとしての勉強が足らない。「続けられた方がいいと思う。」との返事であれば、ロータリーの精神がいくらか自分に浸透しつつある、と考えてもよい。無意識のうちにロータリアンとして行動するようになった時が、眞のロータリアンである、と言えましょう。

(要旨)